



平成30年9月20日
国立大学法人 千葉大学

西千葉キャンパス発！“はちみつ”初めます

千葉市内で生産・消費する千産千消の取り組み

国立大学法人千葉大学では、松戸キャンパスや柏の葉キャンパスを中心に、都市環境園芸に関する教育研究を行っています。養蜂研究については、これまで柏の葉キャンパスを中心に行われてきましたが、都市養蜂研究の実施場所として西千葉キャンパスを利用することとし、平成30年3月に初めて養蜂箱を設置しました。このたび、本研究により採取された蜂蜜（商品名：千葉大学 西千葉キャンパス産のはちみつ）を「地域社会の交流・発展」のため販売し、地域経済の活性化を図っていくことになりました。

■商品開発の背景①～都市養蜂研究について～

近年、都市域のビルの屋上などで養蜂を実施する「ミツバチプロジェクト」と呼ばれる都市養蜂活動が注目されています。ミツバチプロジェクトは、ハチミツの採取のみならず、ミツバチを通して都市環境を考える「環境教育」、採取した蜂蜜を軸として地産地消の商品開発を行い、地域経済の活性化を図る「地域社会の交流・発展」、ミツバチの生育環境向上を目的とした「緑化活動啓発・促進」、地域のデザイナーや企業と協働し、食や養蜂のプロダクト開発を行う「農のデザイン」など、多岐に渡り数多くの利益をもたらすものと考えられています。一方で、都市におけるミツバチプロジェクトを扱った研究はほとんど実施されておりません。今後、ミツバチプロジェクトを推進するにあたり、より一層の質向上が図れるよう、国際教養学部・永瀬彩子准教授、大学院園芸学研究所・三輪正幸助教らを中心に都市養蜂研究が進められております。

■商品開発の背景②～屋上養蜂活動を開始～

平成30年3月8日、千葉大学西千葉キャンパス内の建物の屋上（地上10階）において、養蜂を開始しました。現在取り組んでいるミツバチに関する研究は以下のとおりです。

・『実用的でスタイリッシュな養蜂箱の開発』

養蜂家が用いる養蜂箱は、実用的であるものの外観については検討されていないため、養蜂の現場に芸術的な選択肢を取り入れることを目的とし、工学部デザインコースの学生がデザインしたものを取り入れました。

・『花粉DNA分析による蜜源植物および緑化植物の評価』

ミツバチが巣に持ち帰る花粉のDNA分析による蜜源植物の同定調査やマーキングしたミツバチが訪れる緑地の調査により、緑化に適した植物の評価を行います。



養蜂開始時の様子



採蜜の様子

■商品開発の背景③～西千葉キャンパス産のはちみつの発信～

ミツバチは千葉大学西千葉キャンパスを中心に、最大半径3 km程度の範囲を飛び回っており、西千葉キャンパス内をはじめ、周辺の街路樹、公園などからも蜜を集めていることがわかりました。また、前述の蜜源植物の同定により、千葉市内においても蜂蜜の原料となる植物がたくさんあることや、収穫時期により蜜源植物の構成が異なることがわかりました（下表参照）。

このように研究を進めていく中で、当初の予想を上回る蜂蜜が採取できたことを受け、本学の研究成果を実際の商品とともに皆さまへお伝えする良い機会との思いから、この度の商品化へと至りました。

商品には、あらかじめ115項目の残留農薬を分析し、採取月毎に蜜源植物を明示しています。安心・安全、かつ千葉市内でのみ採取された千産千消にふさわしい蜂蜜となりました。

商品名	蜜源植物	特徴
4月のはちみつ	サクランボ、菜の花、ヘアリーベッチなど（約34種）	濃厚、甘みが強い、コクがある
5月のはちみつ	トチノキ、アカシア、クローバーなど（約35種）	非常に爽やか、くせがなく後味もよい
6月のはちみつ	矢車菊、クローバー、クロガネモチなど（約35種）	さらさら、優しい甘味が口いっぱいに広がる
7月のはちみつ	長命草、クローバー、イワダレソウなど（約39種）	わずかに薬草の香りがする

表. 花粉DNA分析に基づく各はちみつの蜜源植物および特徴

■『千葉大学 西千葉キャンパス産のはちみつ』

商品の種類：4月のはちみつ（サクランボなど）、5月のはちみつ（トチノキなど）、6月のはちみつ（矢車菊など）、7月のはちみつ（長命草など）

※以降、月ごとに異なる種類を販売予定

内 容 量：110g

価 格：1,728円（税込）



※そごう千葉店様で9月21日（金）より開催される「3市連携うまいものフェア」の特別企画として、同日発表会および取扱いを開始します。また発表会では、「千葉大学 西千葉キャンパス産のはちみつ」の試食や同品をを使用したコラボ商品が期間限定にて販売されます。

本件に関するお問い合わせ
 千葉大学企画総務部渉外企画課広報室
 TEL：043-290-2232 FAX：043-284-2550 E-mail：bag2018@office.chiba-u.jp